

侵入防止柵及び捕獲によるイノシシの被害防止対策

1 要旨

大原地区では、これまで農作物へのイノシシ被害対策として、個人ごとに対策を行ってきたが、近年は圃場への侵入を防ぐことができなくなったため、地区内で協力して、地域ぐるみで対策を講じることとなった。

2 地区の概要

地区名	防府市大字台道大原地区
主な作物	水稲、果樹、葉物野菜
加害獣種	イノシシ
対策実施年度	令和4年度



3 被害の状況と課題

- 以前よりイノシシの被害が発生しており、個人でポリエチレン製の網の設置、猟友会による箱わなでの捕獲等対策を実施し、なんとか収穫を確保してきた。
- しかし、近年箱わなでの捕獲量の減少とともにポリエチレン製の網では破られイノシシの圃場への進入を防ぐことができず、個々の対策では収穫の確保が不可能となり、地域ぐるみで対策に取り組むこととなった。

4 取組内容

(1) 周辺環境の調査及び整備

集落内農地の状況とイノシシ被害状況を調査し、緩衝帯の設置・管理や放任果樹・野菜くずの廃棄をしないように集落で徹底した。

(2) 防護・捕獲活動

イノシシの侵入を防ぐため、侵入防止柵を設置し、柵の点検・見回り活動を実施し、柵の維持管理を行った。また箱わなの設置に際しては、猟友会と相談して設置場所を検討するなど効果的な捕獲活動を実施した。

(3) 生息地管理対策

イノシシの侵入を防ぐため、耕作放棄地の草刈りを実施し整備するとともに、イノシシの侵入がないか見回り活動を行った。

【防護柵設置状況】



【急傾斜地での作業状況】



5 取組の成果

集落関係者や猟友会、関係 機関と連携し、地域一帯で被害防止への対応ができる活動体制ができた。

【被害額】

(千円)

区分	事業 実施前	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		実績	増減	実績	増減	実績	増減
イノシシ	370	—	—	—	—	—	—

6 地区代表者のコメント

地区住民の高齢化等に伴い、個人での対応が困難となり、いのしし被害の多発が懸念される状況となったため、地域ぐるみの対策に取り組むこととし、地区全体にワイヤーメッシュ柵を設置することができた。今後は、情報を共有しながら、防護・捕獲・生息地管理等による対策を講じていきたい。

7 今後の取組

引き続き、侵入防止柵の設置効果が維持できるよう、柵の見回りを実施するとともに耕作放棄地の整備を行う。また、猟友会との相互連携に努めていく。